

# ユーザー ガイド

## Citrix ICA クライアント for Windows CE バージョン 1.0

## 2 ユーザー ガイド

---

このマニュアルに記載されている内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。このマニュアルで例として使用されている会社名、人名、データは、特に記載のないかぎりすべて架空のものであります。このマニュアルのいずれの部分も、Citrix Systems, Inc. からの文書による許可なく、いかなる目的の、いかなる電子的、機械的な形式または手段によっても、複製または配布することは禁じられています。

(C) 1994-1998 Citrix Systems, Inc. All rights reserved.

Citrix、Independent Computing Architecture (ICA)、DirectICA、MetaFrame、SecureICA、および *WINFRAME* は、Citrix Systems, Inc.社の米国またはその他の諸国における登録商標または商標です。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows CE と Windows NT、および BackOffice は、Microsoft Corporation の米国またはその他の諸国における登録商標または商標です。

IBM は International Business Machines Corporation の登録商標で、IBM PC、IBM PC/AT は同社の商標です。

# 目次

Citrix ICA クライアント for Windows CE .....	5
はじめに .....	5
概要 .....	6
必要条件 .....	7
ICA Windows CE クライアントのインストール .....	7
ICA Windows CE クライアントのアンインストール .....	8
ICA Windows CE クライアントの起動 .....	8
リモート アプリケーション マネージャの機能 .....	9
新規接続エントリの作成 .....	11
ネットワーク接続の作成 .....	11
ダイヤルイン接続の作成 .....	16
ICA Windows CE クライアントの設定 .....	20
既定のホットキー .....	20
基本設定 .....	22
サーバーの場所 .....	23
ICA ファイルのインポート .....	24
ローカル プリンタからの印刷 .....	24
ローカル ドライブへのアクセス .....	25
ICA Windows CE クライアントの最適化 .....	26
Softkey の使用 .....	26
ローカル タスクバーを自動的に隠すには .....	28
小さい [スタート] メニュー アイコンの使用 .....	28
索引 .....	30

## 4 ユーザー ガイド

---

# Citrix ICA クライアント for Windows CE

## はじめに

Citrix ICA クライアント for Windows CE は、Windows ベースのデバイスを使って Citrix MetaFrame または WinFrame サーバーに接続し、リモート アプリケーションを実行することができます。ICA Windows CE クライアントは Citrix サーバーへの接続を設定して実行するためのリモート アプリケーション マネージャを備えています。

このマニュアルには、Citrix ICA クライアント for Windows CE をインストールする手順が含まれています。主なトピックは以下の通りです。

- ICA Windows CE クライアントの概要
- ICA Windows CE クライアントの必要条件
- ICA Windows CE クライアントのインストール
- リモート アプリケーション マネージャの機能
- 新規接続エントリの作成
- ICA Windows CE クライアントの設定
- ICA ファイルのインポート
- ローカル プリンタからの印刷
- ローカル ドライバへのアクセス

## 概要

ICA Windows CE クライアントは、ICA セッションと呼ばれるリモート コントロール セッションを起動します。ICA セッションとは、リモートの Citrix サーバーで稼働中のアプリケーションをローカルの Windows CE デバイスに表示することです。

以下のいずれかの方法を使って、Citrix (MetaFrame または WINFRAME) サーバーに接続し、ICA セッションを実行できます。

- ローカル TCP/IP ネットワーク接続を使ったネットワーク リモート コントロールによるアクセス。クライアント デバイスは、ネットワーク インターフェイス カード (NIC) を使って Citrix サーバーのあるネットワークに直接接続します。
- Windows 95 または Windows NT の RAS サーバーに TCP/IP シリアル PPP で接続して、リモート ノード+リモート コントロールでアクセス。このアクセス方法では、クライアント デバイスは、モデムを介してリモート ネットワークの RAS サーバーに接続します。ネットワークに接続した後、ICA Windows CE クライアントを起動して Citrix サーバーに接続できます。
- モデム接続を介したダイヤルイン非同期リモート コントロール。クライアント デバイスは、RAS の代わりにモデムを使って Citrix サーバーと直接通信します。

ICA セッションとして設定および起動できるのは、Citrix サーバー接続および公開アプリケーション接続の 2 種類のセッションです。

**Citrix サーバー接続**では、ローカルの Windows CE デバイスから Citrix サーバー上のセッションをリモートで制御できます。これにより、特定の Citrix サーバーのデスクトップにアクセスし、任意の順番でデスクトップ上のアプリケーションを実行できます。

**公開アプリケーション**とは、リモート ユーザーが実行できるように管理者が設定したアプリケーションのことです。公開アプリケーション接続では、指定したアプリケーションにのみアクセスでき、サーバーのアドレスが分からなくても接続を作成できます。

## 必要条件

ICA Windows CE クライアントを実行するには以下が必要です。

- u Windows CE ベースのデバイス
- u TCP/IP ネットワーク接続でローカル ネットワークへ接続されたネットワーク インターフェイス カード (NIC)、またはシリアル PPP およびダイヤルイン接続用のモデムおよび電話回線
- u CE デバイス (SH3、X86、MIPS、PowerPC、または ARM) に対応した ICA Windows CE クライアント プログラム
- u 16 色/グレー スケールまたはそれ以上をサポートするディスプレイ

## ICA Windows CE クライアントのインストール

ICA Windows CE クライアントのインストールには、2 つの方法があります。

- u **PC インストール** - PC に直接接続されている Windows CE 用です。PC 上でセットアップ プログラムを実行して、必要なファイルを接続されている CE デバイスにダウンロードします。
- u **ローカル インストール** - リモートの Windows CE デバイス用です。セットアップ プログラムを Windows CE デバイスにダウンロードして実行します。

➤ **ICA Windows CE クライアントをインストールするには(ローカル インストール)**

1. ICA Windows CE クライアント セットアップ プログラム (Setup.exe) を Windows CE デバイスにコピーします。
2. ICA セットアップ プログラム (Setup.exe) のアイコンをダブルタップし、画面に表示される指示に従います。
3. インストールが完了したら、[スタート]、[プログラム]、[ICA CE クライアント]、[リモート プログラム マネージャ] の順にタップします。
4. プロンプトに従って、その CE デバイスに付ける固有の名前を入力し、[OK] をタップします。同一ネットワーク上の Citrix MetaFrame または WINFRAME サーバーに接続しているほかの CE デバイスと同じ名前にすることはできません。

➤ **ICA Windows CE クライアントをインストールするには(PC インストール)**

1. PC 上で ICA セットアップ プログラム (Setup.exe) のアイコンをダブルタップし、画面に表示される指示に従います。  
必要なファイルが Windows CE デバイスにダウンロードされます。

2. インストールが完了したら、[スタート]、[プログラム]、[ICA CE クライアント]、[リモート プログラム マネージャ] の順にタップします。
3. プロンプトに従って、その CE デバイスに付ける固有の名前を入力し、[OK] をタップします。同一ネットワーク上の Citrix MetaFrame または WINFRAME サーバーに接続しているほかの CE デバイスと同じ名前を使用することはできません。

## ICA Windows CE クライアントのアンインストール

- ICA Windows CE クライアントをアンインストールするには
  1. [スタート]、[プログラム]、[ICA CE クライアント]、[ICA クライアントの削除] の順にタップします。
  2. 確認のボックスが表示されたら、[はい] を タップします。最後に [OK] をタップしてアンインストールを完了します。

## ICA Windows CE クライアントの起動

- ICA Windows CE クライアントを起動するには
  - CE デスクトップ上で、[スタート]、[プログラム]、[ICA CE クライアント]、[リモート プログラム マネージャ] の順にタップします



## リモート アプリケーション マネージャの機能



リモート アプリケーション マネージャは ICA 接続エントリの設定や実行などに使います。リモート アプリケーション マネージャにはリモート アプリケーションやサーバーへの接続の一覧が表示されます。

### ➤ 新しく ICA 接続を作成するには



- [新規] アイコンをタップするまたは、[エントリ] メニューをタップし、次に [新規] をタップすると、新規エントリのウィザードが表示されます。ICA 接続エントリ新規作成の詳細については後の「新規接続の作成」を参照してください。

### ➤ ICA セッションを起動するには



- リモート アプリケーション マネージャの一覧から任意のエントリを選択して、[エントリ] メニューをタップし、次に [接続] をタップします。エントリをダブルタップすることもできます。ICA Windows CE クライアントの [接続中] 画面が表示されます。エントリ作成時にユーザー名、ドメイン、およびパスワードを入力しなかった場合、接続時に入力するよう要求されます。ユーザー名、ドメイン、およびパスワードを入力して [OK] をタップします。匿名の公開アプリケーションに接続するときはこれらの情報を入力する必要はありません。

### ➤ エントリのプロパティを表示するには



- エントリを選択し、[プロパティ] アイコンをタップするか、[エントリ] メニューをタップして、次に [プロパティ] をタップします。この手順で既存のエントリを編集できるようになります。ウィザードの各画面で必要に応じて変更を加え、ウィザードの最後の画面で [完了] をタップして変更を保存します。

➤ エントリを削除するには



- エントリを選択して、[削除] アイコンをタップするか、[エントリ] メニューをタップして、次に [削除] をタップします。

➤ リモート アプリケーション マネージャ エントリのショートカットをデスクトップ上に作成するには

- エントリを選択して、[エントリ] メニューをタップし、次に [ショートカットの作成] をタップします。エントリの名前が付いたショートカットがデスクトップ上に作成されます。このショートカットを使用すると、リモート アプリケーション マネージャを開始せずにセッションを起動できます。

➤ 表示を変更するには

- リモート アプリケーション マネージャのエントリ一覧に表示される接続エントリの表示には 3 つのオプションがあります、表示方法を変更するには、[表示] メニューあるいはツールバー アイコンの [大きいアイコン]、[小さいアイコン]、[詳細] をタップします。アイコン表示ではエントリの名前とアイコンが表示されます。[詳細] ではエントリ名、Citrix サーバーまたは電話番号、さらにサーバーへの接続に使用するプロトコルまたはデバイスが表示されます。

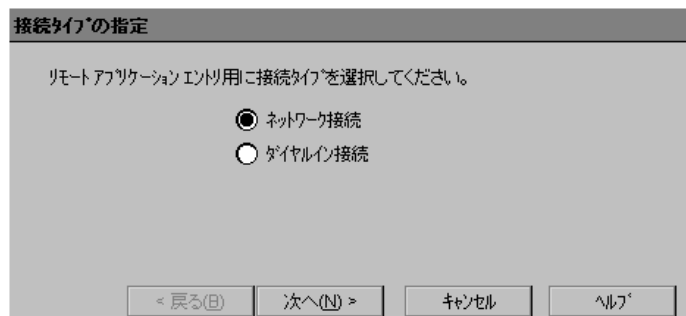
## 新規接続エントリの作成

リモート アプリケーション マネージャで新規接続エントリを作成する手順は、ネットワーク接続の場合とダイヤルイン接続の場合では多少違いがあります。ICA 接続の種類については、前の「概要」を参照してください。

## ネットワーク接続の作成

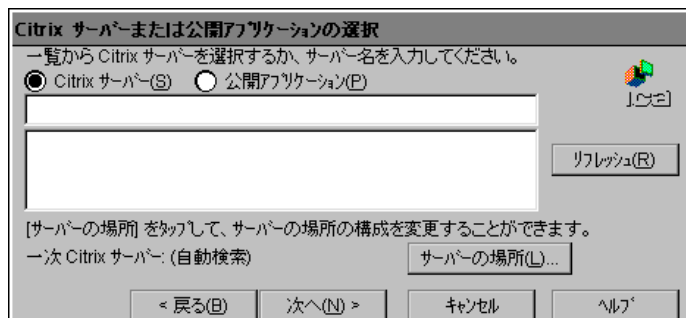
### ▶ 新しいネットワーク接続を作成するには

1. リモート アプリケーション マネージャを開始します。[エントリ] メニューをタップし、次に [新規] をタップします。新規エントリ作成のウィザードが表示されます。



[ネットワーク接続] をタップします。クライアント デバイスは、NIC を使ってネットワークに接続しているか、または PPP 接続を使って Windows 95 または Windows NT の RAS サーバーに接続する必要があります。[次へ] をタップします。

2. 次のような [Citrix サーバーまたは公開アプリケーションの選択] ダイアログ ボックスが開きます。



Windows CE デバイスが、接続先の Citrix サーバーと異なるネットワーク上にある場合、つまり、ルーターを介して接続されている、インターネット経由で接続している、または RAS を使って Citrix サーバーのあるリ

リモート ネットワークに接続しているなどの場合、Citrix サーバーはサーバーおよび公開アプリケーションの一覧には表示されません。この場合、**[サーバーの場所]** をタップして手順 3 に進んでください。それ以外の場合は、一覧をスクロールして Citrix サーバーまたは公開アプリケーションを選択するか、または編集フィールドにその名前を入力し、**[次へ]** をタップして手順 4 に進みます。

3. 次のような **[サーバーの場所]** ダイアログ ボックスが開きます。



リモート アプリケーション マネージャは、**[サーバーの場所]** ダイアログ ボックスに入力された情報を基に Citrix サーバーおよび公開アプリケーションを検索します。**[アドレス一覧]** フィールドに表示されるデフォルト値は **[自動検索]** です。**[自動検索]** を使用するには、Windows CE デバイスと接続先の Citrix サーバーが同じローカル ネットワーク上にある必要があります。

Windows CE デバイスが異なるネットワーク上にある場合、つまり、ルーターを介して接続されている、インターネット経由または RAS を使って Citrix サーバーに接続しているなどの場合は、接続先のネットワーク上の任意の Citrix サーバー の IP アドレスまたは DNS 名を入力する必要があります。

**[追加]** をタップして、リモート ネットワーク上にある Citrix サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を入力し、続いて **[OK]** をタップします。**[Citrix サーバーまたは公開アプリケーションの選択]** ダイアログ ボックスが再び表示されます。一覧をスクロールして接続先の Citrix サーバーまたは公開アプリケーションの名前を選択し、**[次へ]** をタップします。

4. 次のような [アプリケーションの指定] ダイアログ ボックスが開きます (公開アプリケーション接続を設定するときには、このダイアログ ボックスは開きません)。

[コマンド ライン] フィールドに、Citrix サーバーに正常にログオンできたときに起動するアプリケーションのパスと名前を入力します。Citrix サーバー上で Windows NT デスクトップを起動する場合は、このフィールドを空にしておきます。[作業ディレクトリ] では、[コマンド ライン] フィールドで指定したアプリケーションを特定のディレクトリに関連付けることができます。作業ディレクトリのドライブおよびパスを [作業ディレクトリ] フィールドに入力します。

例えば、メモ帳の実行ファイル Notepad.exe が Citrix サーバーの C:\WTSRV ディレクトリにある場合、[コマンド ライン] フィールドに「C:\WTSRV\Notepad.exe」と入力します。メモ帳を使って C:\My Documents ディレクトリにある文書を開くには、[作業ディレクトリ] フィールドに「C:\My Documents」と入力します。こうすると、Citrix サーバーへのログオン時にメモ帳が起動し、メモ帳で [ファイル] メニューをタップすると、C:\My Documents ディレクトリが表示されます。[次へ] をタップします。

5. 次のような [ログオン情報の指定] ダイアログ ボックスが開きます。

有効なユーザー名、ドメイン、およびパスワードを入力します。これらのフィールドを空にしておくと、ICA Windows CE クライアントから Citrix サーバーに接続する際に、ユーザー名、ドメイン、およびパスワードの入力を要求されます。[次へ] をタップします。

6. 次のような [ウィンドウ オプションの選択] ダイアログ ボックスが開きます。



[ウィンドウのサイズ] フィールドで [絶対] または [相対] を選択します。絶対値のウィンドウ サイズはピクセル数で指定します。相対値のウィンドウ サイズは、ICA セッションのウィンドウ サイズをローカル デスクトップに対するパーセント値で指定します。

[ウィンドウの色] フィールドで [16] 色または [256] 色を選択します。PPP 接続を使用するときは 16 色の方がより良いパフォーマンスを得られます。指定したウィンドウのオプションがクライアント ハードウェアの性能を超えている場合、その CE デバイスがサポートする最大のサイズおよび色数が使用されます。[次へ] をタップします。

7. 次のような [圧縮、キャッシュ、およびサウンド] ダイアログ ボックスが開きます。



[データ ストリームの圧縮] をタップすると、ICA Windows CE クライアントとホストの Citrix サーバー間でのデータ転送量を低減できます。接続の帯域幅に制限がある場合、圧縮によりパフォーマンスが向上する可能性

があります。クライアント デバイスが高速 LAN 上にある場合は、圧縮の必要はないかもしれません。

現行バージョンは [キャッシュ] 機能をサポートしていません。

[サウンドを有効にする] をタップするとサウンド機能が有効になり、リモート アプリケーションからのサウンドをクライアントが再生できるようになります。プルダウン リストから再生の音質レベルを選択します。

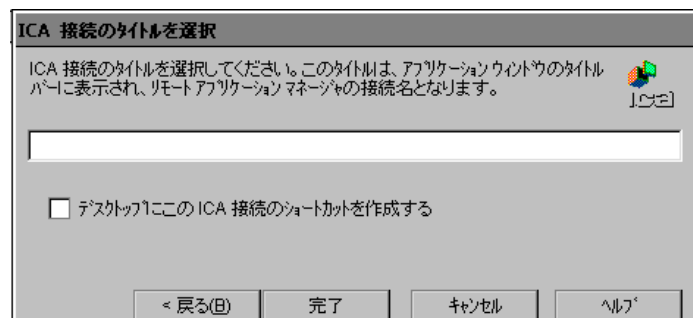
[高] を選択すると、最高の音質レベルでサウンドを再生できます。このオプションは、使用できる帯域幅に制限がない場合にのみ使用してください。

[中] では、[高] ほど帯域幅を使用しません。サウンド データを圧縮すると帯域幅を効率良く使用できますが、音質が多少落ちます。ほとんどの LAN ベースの接続では、このオプションの使用をお勧めします。

[低] を選択すると、帯域幅を最も効率良く使用できますが、音質レベルが大幅に落ちます。この値は、ほとんどのモデム接続をはじめ、帯域幅が限られた接続で使用するようお勧めします。

[次へ] をタップして続行します。

8. 次のような [ICA 接続のタイトルを選択] ダイアログ ボックスが開きます。



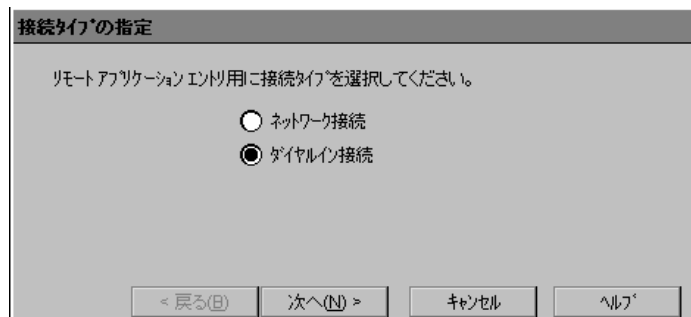
Citrix サーバーまたは公開アプリケーション名がデフォルト名として編集フィールドに表示されます。表示される名前をそのまま使用するか、または別の名前を入力します。設定した名前は、リモート アプリケーション マネージャの接続一覧にエントリ名として、また ICA セッション ウィンドウのタイトル バーにタイトルとして表示されます。[完了] をタップし、確認のメッセージが表示されたら [OK] をタップします。

## ダイヤルイン接続の作成

**注意** セキュリティを強化のために、Citrix サーバーはモデム コールバック機能を備えています。Citrix サーバーのモデム コールバック機能を設定すると、サーバーはログイン時にダイヤルイン接続を切断し、続いて指定の番号にダイヤルして、ログオンしようとしているユーザーに再接続します。Windows CE には返信コールに応答する機能が備わっていないため、ICA Windows CE クライアントはダイヤルイン接続におけるモデム コールバック機能をサポートしていません。

### ▶ ダイヤルイン接続を作成するには

1. リモート アプリケーション マネージャを開始します。[エントリ] メニューをタップし、次に [新規] をタップします。新規エントリ作成のウィザードが表示されます。



[**ダイヤルイン接続**] をタップします。モデムがインストールされ、正しく構成されていることを確認したら、[次へ] をタップして続行します。

2. 次のような [**ダイヤルイン デバイス**] ダイアログ ボックスが開きます。





プルダウン リストから該当のモデムを選択します。[市外局番]、[電話番号]、および [国番号] フィールドに Citrix サーバーへの接続に使う市外局番、電話番号、および国番号を入力し、[次へ] をタップします。

3. 次のような [アプリケーションの指定] ダイアログ ボックスが開きます。

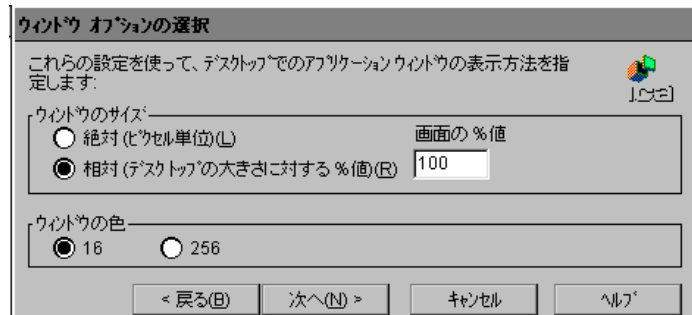
[コマンド ライン] フィールドに、Citrix サーバーに正常にログオンできたときに起動するアプリケーションのパスと名前を入力します。Citrix サーバー上で Windows NT デスクトップを起動する場合は、このフィールドを空にしおきます。[作業ディレクトリ] では、[コマンド ライン] フィールドで指定したアプリケーションを特定のディレクトリに関連付けることができます。作業ディレクトリのドライブおよびパスを [作業ディレクトリ] フィールドに入力します。

たとえば、メモ帳の実行ファイル Notepad.exe が Citrix サーバーの C:\WTSRV ディレクトリにある場合、[コマンド ライン] フィールドに「C:\WTSRV\Notepad.exe」と入力します。メモ帳を使って C:\My Documents ディレクトリにある文書を開くには、[作業ディレクトリ] フィールドに「C:\My Documents」と入力します。こうすると、Citrix サーバーへのログオン時にメモ帳が起動し、メモ帳で [ファイル] メニューをタップすると、C:\My Documents ディレクトリが表示されます。[次へ] をタップします。

4. 次のような [ログオン情報の指定] ダイアログ ボックスが開きます。

有効なユーザー名、ドメイン、およびパスワードを入力します。これらのフィールドを空にしておくと、ICA Windows CE クライアントから Citrix サーバーに接続する際に、ユーザー名、ドメイン、およびパスワードの入力を要求されます。[次へ] をタップします。

5. 次のような [ウィンドウ オプションを選択] ダイアログ ボックスが開きます。



[ウィンドウ サイズ] フィールドで [絶対] または [相対] を選択します。絶対値のウィンドウ サイズはピクセル数で指定します。相対値のウィンドウ サイズは、ICA セッションのウィンドウ サイズをローカル デスクトップに対するパーセント値で指定します。

[ウィンドウの色] フィールドで [16] 色または [256] 色を選択します。PPP 接続を使用するときは 16 色の方がより良いパフォーマンスを得られます。指定したウィンドウのオプションがクライアント ハードウェアの性能を超えている場合、その CE デバイスがサポートする最大のサイズおよび色数が使用されます。[次へ] をタップします。

6. 次のような [圧縮、キャッシュ、およびサウンド] ダイアログ ボックスが開きます。



[データ ストリームの圧縮] をタップすると、ICA Windows CE クライアントとセッションを管理する Citrix サーバー間でのデータ転送量を低減で

きます。ほとんどのモデム接続では、圧縮によりパフォーマンスが向上します。

現行バージョンでは [キャッシュ] 機能はサポートされていません。

[サウンドを有効にする] をタップするとサウンド機能が有効になり、リモート アプリケーションからのサウンドをクライアントで再生できるようになります。プルダウン リストから再生の音質レベルを選択してください。

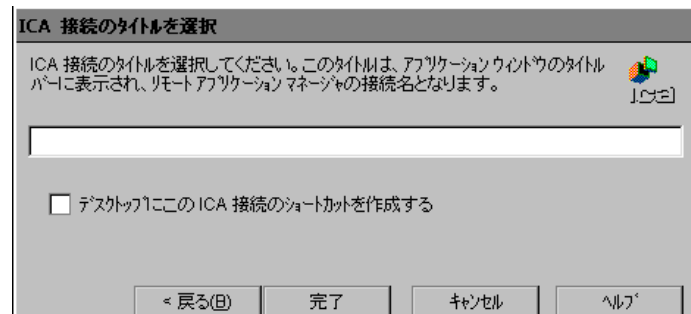
[高] を選択すると、最高の音質レベルでサウンドを再生できます。ただしこのオプションは、使用できる帯域幅に制限がない場合にのみ使用してください。

[中] では、[高] ほど帯域幅を使用しません。サウンド データを圧縮すると帯域幅の使用効率が向上しますが、音質が多少落ちます。ほとんどの LAN ベースの接続では、このオプションの使用をお勧めします。

[低] を選択すると、帯域幅の使用効率は最も向上しますが、音質レベルが大幅に落ちます。この値は、ほとんどのモデム接続をはじめ、帯域幅が限られた接続で使用するをお勧めします。

[次へ] をタップして続行します。

7. 次のような [ICA 接続のタイトルを選択] ダイアログ ボックスが開きます。



名前を編集フィールドに入力します。設定した名前は、リモート アプリケーション マネージャの接続一覧にエントリ名として、また ICA セッション ウィンドウのタイトル バーにタイトルとして表示されます。[完了] をタップし、確認のメッセージが表示されたら [OK] をタップしてください。

## ICA Windows CE クライアントの設定

[設定] ダイアログ ボックスでは、リモート アプリケーション マネージャで作成されるすべてのリモート アプリケーション エントリに適用されるデフォルト設定を定義することができます。これらの設定の中には、新規接続作成のウィザードで別の値を選択したり、既存エントリのプロパティを編集して変更できる値もあります。[設定] ダイアログ ボックスには、[既定のホットキー]、[基本設定]、および[サーバーの場所] の 3 つのタブがあります。

### 既定のホットキー

ICA Windows CE クライアントは、ホットキーを使って ICA セッション中にさまざまな機能を制御できます。ホットキーの中には ICA Windows CE クライアントの動作を制御するものもありますが、それ以外は Windows 標準のホットキーのエミュレーションです。

たとえば、Windows の標準ホットキーである ALT-ESC は、開いているアプリケーションのウィンドウや最小化されたアイコンの間でフォーカスを循環します。Windows CE デバイスでこのホットキーを使用すると、CE デバイスで開いているアプリケーション間でフォーカスが循環します。Citrix サーバーに接続し、リモートで開いているアプリケーションの間でフォーカスを循環する場合は、ALT+ESC キーを使用することはできません。このキーの組み合わせは CE デバイス専用です。代わりに ICA Windows CE クライアントのホットキーである CTRL+7 を使用します。

[既定のホットキー] タブをアクセスするには、[表示] メニューをタップし、次に [設定] をタップします。



[既定のホットキー] タブにあるプルダウン ボックスを使って、ホットキーとして使うキーの組み合わせをカスタマイズできます。

次の表で ICA Windows CE クライアントで使用できるホットキーについて説明します。最初の欄には、ホットキーの名前または Windows の標準ホット

キーの名前が表示されています。2 番目の欄では ICA セッション中にホットキーとして使用するキーの組み合わせを示し、3 番目の欄ではホットキーの機能について説明しています。

機能	キーの組み合わせ	説明
接続状況ダイアログ	CTRL+6	ICA Windows CE クライアントの接続状況を表示します。
アプリケーションを閉じる	CTRL+2	ICA Windows CE クライアントを Citrix サーバーから切断し、ローカル デスクトップのクライアント ウィンドウを閉じます。このホットキーを使用すると、Citrix サーバーの ICA セッションは切断された状態で続行します。ICA セッションを続行しない場合は、ログオフしてください。
タイトル バーの表示/非表示	CTRL+3	クライアント ウィンドウのタイトル バーの表示/非表示を切り替えます。ウィンドウを移動するには、クライアント ウィンドウのタイトル バーを表示してドラッグします。作業領域を最大にするには、タイトル バーを非表示にします。
CTRL+ALT+DEL	CTRL+4	リモート デスクトップの [Windows NT のセキュリティ] ダイアログ ボックスを開きます。
CTRL+ESC	CTRL+5	WINFRAME サーバーの場合、リモート コンピュータの [Task List] が表示されます。MetaFrame サーバーの場合は、リモート コンピュータの Windows NT [スタート] メニューが表示されます。
ALT+ESC	CTRL+7	ICA セッションで開いているプログラムのウィンドウや最小化されたアイコンの間で、フォーカスを循環できます。
ALT+TAB	CTRL+8	このホットキーを押すと、ポップアップボックスにアプリケーション アイコンの一覧が表示され、ICA セッションで実行されているアプリケーションの間で、フォーカスを循環することができます。選択されたアプリケーションが、キーボードとマウスのフォーカスを受けます。
ALT+BACKTAB	CTRL+9	このホットキーを使用すると、Alt+Tab ホットキー同様に、ICA セッションで開いているアプリケーションのアイコン間を循環しますが、逆方向に循環します。選択されたアプリケーションが、キーボードとマウスのフォーカスを受けます。

## 基本設定

[基本設定] タブでは、通常のウィンドウのサイズや色、その他の設定を変更できます。[基本設定] タブにアクセスするには、[表示] メニューをタップし、次に [設定]、[基本設定] の順にタップします。



[基本設定] タブには、以下のようなフィールドがあります。

- u **通常のウィンドウのサイズ** クライアント デバイスのウィンドウ サイズをピクセル単位で選択します。最大は画面の最高解像度です。
- u **通常のウィンドウの色** このフィールドで [16] 色または [256] 色を選択します。PPP 接続を使用する場合は、16 色モードの方が優れたパフォーマンスを得られます。指定したウィンドウ オプションに対応できる機能がクライアント ハードウェアに備わっていない場合、その Windows CE デバイスがサポートできる最大サイズおよび色数が代わりに使用されます。
- u **シリアル番号** ICA クライアント ソフトウェアのシリアル番号を入力するフィールドです。ICA Windows CE クライアントを、*WINFRAME* Host/Terminal などのように、クライアントがサーバーへ接続する際に Citrix PC クライアント Pack のシリアル番号を要求する製品と併用している場合に限り、このフィールドへの入力が必要です。シリアル番号が必要な場合は、シリアル番号カードに記載されている通りに番号を入力してください。MetaFrame サーバーでは [シリアル番号] フィールドは使用されません。
- u **クライアント名** このテキスト ボックスを使用して、クライアント デバイスのクライアント名を変更できます。Citrix サーバーは、指定したクライアント名からそのクライアント デバイスに関連付けられているリソース (割り当てられているプリンタなど) を識別します。このため、Citrix ICA クライアントを実行するコンピュータには、固有のクライアント名を付ける必要があります。そうしないと、デバイス割り当てやアプリケーションの公開機能が正しく動作しない恐れがあります。
- u **パレット デバイスを有効にする** デバイスに設定可能なハードウェア パレットが備わっている場合、このフィールドをタップするとグラフィック

の表示機能が向上します。ハードウェアパレットが備わっていないデバイスでこの機能を有効にすると、グラフィックが正しく表示されなくなります。

- u クライアントの自動アップデートを許可する 現行バージョンでは、この機能はサポートされていません。

## サーバーの場所

リモートアプリケーションマネージャは、[サーバーの場所] タブに入力された情報を基に、使用可能な Citrix サーバーまたは公開アプリケーションを検索します。[サーバーの場所] タブにアクセスするには、[表示] メニューをタップし、次に [設定]、[基本設定] の順にタップします。



一覧に表示されるデフォルト値は [自動検索] です。[自動検索] は、自動的にネットワークから Citrix サーバーを検出し、使用可能な Citrix サーバーおよび公開アプリケーションを一覧に表示します。[自動検索] を使用するには、Windows CE デバイスと接続先の Citrix サーバーまたは公開アプリケーションが同じローカルネットワーク上に存在する必要があります。

Windows CE デバイスが異なるネットワーク上にある場合、つまり、ルーターを介して接続されている、インターネット経由または RAS を使って Citrix サーバーに接続しているなどの場合は、接続先の Citrix サーバーまたは公開アプリケーションがあるネットワーク上の任意の Citrix サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を入力する必要があります。リモートアプリケーションマネージャは、このサーバーを使ってそのネットワーク上の使用可能な Citrix サーバーまたは公開アプリケーションの一覧を検索します。

[追加] および [削除] ボタンを使用すると、Citrix サーバーを [アドレス一覧] から追加または削除できます。また、[上へ移動] および [下へ移動] ボタンを使用すると、一覧での Citrix サーバーの順序を変更することができます。一覧内で上の方に表示されているサーバーは、サーバーの場所の検索に使用される優先度が高くなります。

---

**重要** RAS は、インターネット経由でリモート ネットワークに接続します。このため、RAS を使って Citrix サーバーのあるネットワークに接続する場合は、アドレス フィールドに Citrix サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を入力する必要があります。

---

## ICA ファイルのインポート

ICA Windows CE クライアントは標準の ICA ファイルを使って Citrix サーバーに接続することができます。ICA ファイルを使用するには、リモート アプリケーション マネージャでファイルをインポートし、接続の設定情報をリモート アプリケーション一覧のエントリに変換する必要があります。ICA ファイルをインポートすると、複数のクライアント デバイスを使用する際、標準接続グループのセットアップが簡略化されます。

- **ICA ファイルまたは ICA ファイル グループをインポートするには**
  1. ¥Citrix ディレクトリに有効な ICA ファイルを置きます。
  2. リモート アプリケーション マネージャを開始します。ICA ファイルが接続エントリとして表示されます

## ローカル プリンタからの印刷

Citrix ICA クライアントを使用すると、Windows CE デバイスの COM または LPT ポートに接続しているプリンタから印刷できます。

- **MetaFrame からローカル プリンタを使って印刷するには**
  1. タスクバー上の [スタート] ボタンをタップし、[設定] をポイントして [プリンタ] をタップします。
  2. [プリンタ] ウィンドウに、「クライアント名#ポート」形式の名前を持つ ネットワーク プリンタのアイコンが表示されます。実際には、「クライアント名」は Windows CE デバイスに割り当てられた名前、「ポート」は Windows CE デバイスのプリンタ ポート名 (例 :COM1 または LPT1) です。
  3. クライアント プリンタが表示されない場合は、[プリンタ] ウィンドウ内の [プリンタの追加] アイコンをタップし、**プリンタの追加ウィザード**を起動します。
  4. [ネットワーク プリンタ サーバー] をタップし、続いて[次へ] をタップします。
  5. [クライアント ネットワーク] をダブルタップし、続いて [クライアント] をダブルタップします。



6. 表示される一覧からプリンタを選択し、[OK] をタップします。  
Windows CE デバイスで使用可能なプリンタ ポートには「クライアント名#ポート」形式の名前が付いています。
  8. このプリンタを通常使うプリンタに設定するには、[はい] をタップし、続いて [次へ] をタップします。
  9. [完了] をタップして設定を完了します。
- **WINFRAME でローカル プリンタから印刷するには**
1. [Main] プログラム グループで [Print Manager] をダブルタップします。  
[Print Manager] ウィンドウに、「クライアント名#ポート」形式の名前を持つネットワーク プリンタのアイコンまたはダイアログ ボックスが表示されます。実際には、「クライアント名」は Windows CE デバイスに割り当てられた名前、「ポート」は Windows CE デバイスのプリンタ ポート名 (例 : COM1 または LPT1) です。
  2. クライアント プリンタが表示されない場合は、[Printer] メニューの [Connect to Printer] をタップします。
  3. [Shared Printers] の一覧で [Client Network] をダブルタップします。
  4. [Client] アイコンをダブルタップします。
  5. 「クライアント名#ポート」形式の名前を持つ、クライアント プリンタ アイコンを選択して [OK] をタップします。
  6. このプリンタを通常使うプリンタに設定するには、[Print Manager] ウィンドウの上部にある [Default] フィールドの一覧でこのプリンタを選択します。

## ローカル ドライブへのアクセス

ICA クライアントは、Citrix サーバー セッション中に自動的にローカルの Windows CE にあるディスクやフォルダを、PC のドライブ文字を使ってアクセスできるようにします

- **MetaFrame セッションからローカルの Windows CE ドライブをアクセスするには**
- MetaFrame セッションの [マイ コンピュータ] をダブルタップします。  
ローカル ドライブは、ネットワーク ドライブとして表示されます。利用可能な最初のドライブ文字が割り当てられています。
- **WINFRAME セッションからローカルの WINDOWS CE ドライブをアクセスするには**
- WINFRAME セッションの [File Manager] を開きます

ローカル ドライブは、ネットワーク ドライブとして表示されます。利用可能な最初のドライブ文字が割り当てられています。

## ICA Windows CE クライアントの最適化

Windows CE ベースのデバイスは画面が小さく、表示が制限されるため、アプリケーションなどのアクセスが思うようにできない場合があります。たとえば、公開アプリケーションにではなく MetaFrame サーバーに接続すると、セッション ウィンドウに Windows NT のデスクトップ全体が表示されます。ICA セッションで初めて Windows の [スタート] メニューをタップしたとき、メニューの一部が画面に表示されず、[スタート] メニューの上部がアクセスできなくなっている場合があります。

公開アプリケーション接続では、アプリケーションから開いた [ファイル名を付けて保存] や [ファイルを開く] などのダイアログ ボックスが、小さなディスプレイに合わせたサイズの調整が行われなため、画面からはみ出し、思うようにアクセスできなくなっていることがあります。

そのような場合、以下の手順に従うと、ICA セッションが使いやすくなります。

- u Softkey を使ってリモート デスクトップのアプリケーションをスクロールしたり、ファンクション キーをエミュレートしたりする。後の「Softkey の使用」を参照してください。
- u Windows CE のタスクバーを非表示にして、デスクトップのワークスペースを最大化する
- u MetaFrame サーバーの ICA セッションで、Windows の [スタート] メニューに小さいアイコンが表示されるように設定する。
- u ICA Windows CE クライアントのホットキーを使用して ICA Windows CE クライアントの機能を制御し、Windows の標準ホットキーをエミュレートする。詳細は「ICA Windows CE クライアントの設定」セクションの「既定のホットキー」を参照してください。

## Softkey の使用

Softkey はリモート デスクトップのアプリケーションをスクロールしたり、IBM 互換機の標準 F キーをエミュレートしたりするためのユーティリティです。Softkey はクライアントの画面が小さいためダイアログボックスが読めない場合やクライアント デバイスに F キーがない場合に役立ちます。

**注意**

以下の手順では Softkey の実行ファイル (Softkey.exe) が Citrix サーバー上の %systemroot%\system32 ディレクトリにあることを前提としています。MetaFrame サーバーは自動的に Softkey を %systemroot%\system32 ディレクトリに置きますが、WINFRAME にはそのような機能はありません。WINFRAME で Softkey を使用するには、Softkey が使用できるようにサーバーが構成されている必要があります。Softkey を %systemroot%\system32 ディレクトリに置くと、WINFRAME サーバーに対する ICA 接続でも以下の手順が使用できるようになります。Softkey プログラムを Citrix サーバー上の [スタートアップ] グループに入れ、ユーザーがログオンしたときに自動的に起動されるようにすることもできます。

▶ **ICA セッションで Softkey を使用するには**

1. サーバー接続の設定で Citrix サーバーへ接続します。
2. WINFRAME サーバーで ICA セッションを実行するときは [Program Manager] の [File] メニューをタップし、次に [Run] をタップします。MetaFrame サーバーに接続した場合は、[スタート] メニューをタップし、次に [ファイル名を指定して実行] をタップします。
3. [ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスで「Softkey」と入力し、ENTER を押すと、ツールバーが表示されます。



方向ボタンは、クライアント デバイスの表示サイズが小さいために部分的にしか表示されないリモート デスクトップ上のアプリケーションをスクロールします。十字の付いたボタンは、方向ボタンで位置を変更されたウィンドウを、元の位置へ戻します。[FK] ボタンは、ファンクションキーのツールバーを表示します。



Softkey のファンクション キーは、IBM 互換機の標準ファンクションキー機能をエミュレートします。[移動可能] をタップすると Softkey のツールバーをディスプレイの最上部から移動することができます。

## ローカル タスクバーを自動的に隠すには

画面のスペースを効率よく使うには、Windows CE のローカル タスクバーが自動的に隠れるようにします。自動的に隠れるように設定されているタスクバーは、画面の下部をタップして表示することができます。このようにすると、アプリケーションはタスクバーのスペースも利用することができます。

### ▶ タスクバーを自動的に隠すには

1. Citrix サーバーに接続する前に ALT キーを押しながら Windows CE タスクバーの任意の場所をタップし、[プロパティ] をタップします。
2. [タスクバーのプロパティ] が表示されます。[自動的に隠す] を選択して [OK] をタップします。タスクバーが消えます。タスクバーを使用するには、画面でタスクバーが通常表示される位置をタップします。

## 小さい [スタート] メニュー アイコンの使用

MetaFrame の [スタート] メニューには、デフォルトで大きいアイコンが表示されます。Windows CE ではこれらのアイコンが画面のスペースを取りすぎて、次の例のようにメニューの一部が画面に表示されず、タップできなくなっている場合があります。



次の手順に従うと、MetaFrame の [スタート] ニューに小さいアイコンが表示されます。

### ▶ 小さい [スタート] ニュー アイコンを表示するには

1. MetaFrame サーバーに接続します。
2. ログオンしてデスクトップが表示されたら、Softkey プログラムを開始します (前の「Softkey の使用」参照)。
3. ALT キーを押しながらリモート デスクトップのタスクバーの任意の場所をタップします。ローカル タスクバーではなく必ずリモート タスクバー

をタップしてください。ポップアップメニューで [プロパティ] をタップします。[タスクバーのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

4. [タスクバーのプロパティ] ダイアログボックスの一部は画面からはみ出して表示されます。[[スタート] メニューに小さいアイコンを表示] を選択します。[OK] をタップします。
5. リモート デスクトップに戻ったら、リモート デスクトップのタスクバーで [スタート] をタップします。



メニューに小さいアイコンが表示されます。

**注意** ICA セッションのデスクトップのスペースを拡張するには、タイトルバー表示/非表示のホットキー (CTRL+3) を使ってクライアントのタイトルバーを非表示にします。ICA セッション ウィンドウのサイズが相対値 100% に設定されているときは、デフォルトでタイトルバーが非表示になります。

# 索引

## I

- ICA クライアントの設定, 20
- ICA セッション
  - 起動, 9
- ICA 接続
  - 新規作成, 9
- ICA 接続のタイトル
  - 選択, 15, 19
- ICA ファイル
  - インポート, 24

## S

- Softkey, 26

## あ

- アイコン
  - [スタート] メニュー, 28
- アプリケーション
  - 指定, 13, 17
- アンインストール
  - ICA クライアント for Windows CE, 8
- 印刷
  - ローカル プリンタから, 24
- インポート
  - ICA ファイル, 24
- ウィンドウの色
  - 指定, 14, 18
  - 通常の, 22
- ウィンドウのサイズ
  - 指定, 14, 18
  - 通常の, 22
- エントリ
  - 削除, 10
- エントリのプロパティ
  - 表示, 9

## か

- 隠す
  - ローカル タスクバー, 28
- 起動
  - ICA クライアント for Windows CE, 8
  - ICA セッション, 9
- 基本設定, 22
- キャッシュ
  - 選択, 14, 18
- クライアントの自動アップデート,  
23
- クライアント名, 22
- 公開アプリケーション
  - 選択, 11

## さ

- 最適化
  - ICA クライアント for Windows CE, 26
- サウンド
  - 有効にする, 14, 18
- 作業ディレクトリ
  - 指定, 13, 17
- 削除
  - エントリ, 10
- 作成
  - ICA 接続, 9
  - 新規接続, 11
  - ダイヤルイン接続, 16
  - デスクトップ ショートカット,  
10
  - ネットワーク接続, 11
- サーバー
  - 選択, 11
- サーバーの場所, 12, 23
- シリアル番号, 22

[スタート] メニュー アイコン

小さいアイコンの使用, 28

接続

新規作成, 11

ダイヤルイン作成, 16

## た

ダイヤルイン接続

作成, 16

タスクバー

ローカルで隠す, 28

データストリームの圧縮

選択, 14, 18

ドメイン

指定, 13, 17

## な

ネットワーク接続

作成, 11

## は

パスワード

指定, 13, 17

パレット デバイス

使用, 22

必要条件, 7

非表示

ローカル タスクバー, 28

表示

エントリのプロパティ, 9

変更, 10

ホットキー, 20

## や

ユーザー名

指定, 13, 17

## ら

リモート アプリケーション マ

ネージャ, 9

機能, 9

デスクトップ ショートカットの

作成, 10

表示の変更, 10

ローカル ドライブへのアクセス,

25